



参観日・PTA 講演会

11月12日に人権教育の授業参観と PTA 講演会を行いました。ご多用の中、多くの保護者の皆様に来校していただきましてありがとうございました。また、同日の参観日前の時間帯には、よねざわ学級とりんどう学級によるバザーを行いました。多くの方に子どもたちが作った小物や野菜をお買い求めいただきましてありがとうございました。収益をもとに、3学期に子どもたちがミニ旅行を行う予定です。

人権教育の授業は、いかがだったでしょうか。教師からの質問に、自分はどっちかな？と考えて意思表示をする1年生、友だちのいいところを伝え合い嬉しそうに2年生の姿がありました。また、PTA 講演会では、東急リゾート蓼科の中條さんに、森の環境についてご講演をいただきました。子どもたちバージョンと大人バージョンに分けてのお話でした。子どもたちは、クイズを解きながら、興味をもちながら環境について学んでいました。今、暮らしている私たちがやれることは、どんなことだろうか…と一人ひとりが考える時間になりました。まずは、簡単にできることから始められるとよいですね。この会を企画運営していただきましたPTA役員の方々に感謝いたします。

また、当日は、学校運営協議会や民生児童委員さん、地域講師の皆さんなど日頃から学校を支えていただいております皆様方に来校していただき、授業参観をしていただいたり、PTA講演会を聞いていただいたりしました。学校だけでなく、地域の皆様と一緒につながりながら日々の生活が送れていることを感謝します。ありがとうございました。





寄贈していただきました

みどり市さん(米沢地場産物直売所協議会様)に、テントを寄贈していただきました。11月11日に子どもたちに紹介をし、翌日の参観日には地域や保護者の皆様にご覧いただきました。暑さを遮断するシートになっており、様々な場面で活用していきたいと思えます。みどり市さんに感謝いたします。ありがとうございました。

また、給食の食材の提供につきましては、みどり会さんが行ってくださっています。米沢の安心安全な食材で作った給食は、心が温まる優しい味です。本当にありがたいことだと感謝しながらいただいております。



人権擁護委員の方による読み聞かせ

人権擁護委員の方が、低学年の子どもたちに読み聞かせ(紙芝居)をしてくださいました。人権とは、なんだろう・・・ということ子どもたちにわかりやすくお話していただきました。1年生も食い入るように話を聞いていました。そして、その後の読み聞かせの時間も、子どもたちの心に染み入るような時間となりました。寒い朝でしたが、子どもたちのために来校していただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。



地域回覧

1月21日発行のため内容が過ぎてしまっているものがありますがご了承ください。

生活科・総合的な学習の時間から

今年度、各学級で米沢の自然やものなどを題材に、生活科や総合的な学習の時間の活動を行っております。12月の参観日には、その様子をご覧いただくことになっております。今回は、2クラスで行っている様子を紹介しますが、各学級で4月からどのような活動に取り組んでいるかをご家庭でも話題にいただければ幸いです。

○2年2組は、丸山で見つけた枝や松ぼっくり、どんぐりなどを使っておもちゃづくりをしています。姉妹学級の4年生や、今月には米沢保育園の年長さんを招待しました。年長さんとの交流会では、子どもたちは、お兄さんお姉さんになって遊び方を教えたり一緒に遊んだりしました。誰かに〇〇したいという子どもたちの気持ちが、活動に表れていました。

○6年2組では、遊具づくりをしています。丸太やロープを使って、丸山に遊び場をつくりたいという子どもたちの願いをもとに活動をしています。作っていく途中でうまくいかないことがあると、友だちと相談したりタブレットで調べたりしながら解決策を見つける姿がありました。全校のみんなが楽しめる遊び場を心待ちにしています。



福祉体験をしました

昨年度から全学級で福祉体験を行っています。体験をすることで、子どもたちが考えたり感じたりしたことを大切にしたいと考えています。今年度は、1・2年生が手話体験、3・4年生がアイマスク・点字ブロック体験、5・6年生が車椅子バスケット体験をしました。子どもたちは、最初は楽しみながら体験をしていましたが、体験が終わるころには「自分にできることをしていきたい」「やさしさだけでなく、障がいをもった人ができることをしてもらおうことが大事だと分かった」などそれぞれに思いを深めていました。



今年度から縄文のビーナスプラン②として、各中学校区の特色ある取り組みを小中で行っています。永明中学校区では、「相手に生きるわたし」として読書図書館教育を中心とした探究的な学びに取り組んでいます。今回の福祉体験は、まさに「相手に生きるわたし」について、目の前の人を理解し、寄り添うこと、そのために自分はどんなことができそうかなど、一人ひとりが考える機会となりました。共生社会をつくっていくために、学校でも子どもたちの体験を大事に福祉教育を進めていきたいと思えます。

